

福岡県議会議長選挙への立候補のお願い

令和8年8月31日

公明党福岡県議団 団長 新開 昌彦 様

同志・挑戦・創造の会（同志会）

福岡県議会議員 神崎 聡

拝啓 このたびの福岡県議会議長選挙について、私は「誰が議長になるか」ではなく、「福岡県議会が本当に変わるのか」が問われる選挙だと考えています。

私は先般、自民党県議団を退会しました。会派の方針と自分の信念が異なるとき、県民にとって何が正しいのかを自らの責任で判断するためです。今回の議長選についても、会派の論理ではなく、県民の信頼回復と議会改革という観点から判断すべきだと考えています。

そのため私は、「最大会派だから議長を出す」という従来の慣例を一度見直し、会派の大小を超えて、県民の信頼回復と議会改革を託せる人物を議長に選ぶべきだと考えています。

その候補として、私は新開団長に立候補していただきたいと、率直にお願い申し上げます。

新開団長にお願いする理由は、公明党という会派だけを評価しているからではありません。先日の副議長選挙にも自ら立候補され、議会の中枢を担う責任を引き受ける意思を示されていること。また、政治倫理条例についても、いち早く制定を提案され、政治と議会に対する県民の信頼を制度面から高めようとしてこられたことを、私は重く受け止めています。

議長に求められるのは、議事を進めることだけではありません。会派の利害を超えて議会全体を公平にまとめ、少数意見にも耳を傾け、必要な改革を前に進めること。そして、県民に「この議会は自らを律し、変わろうとしている」と示すことだと考えています。これまでの新開団長の取り組みは、その役割に通じるものがあると私は考えています。

私は「自民党以外なら誰でもよい」と考えているわけではありません。どの会派に所属しているかではなく、今の福岡県議会に何が必要なのか、誰に議会改革と信頼回復を託せるのかという一点で判断した結果です。

今回の議長選を、単なるポスト争いではなく、福岡県議会が変わる意思を県民に示す機会にしたい。そのためにも、新開団長におかれましては、ぜひ立候補を決断していただきますよう、心よりお願い申し上げます。私も一議員として、その趣旨を正面から県民に説明し、議会改革と信頼回復のために責任を持って行動することをお約束いたします。

敬具